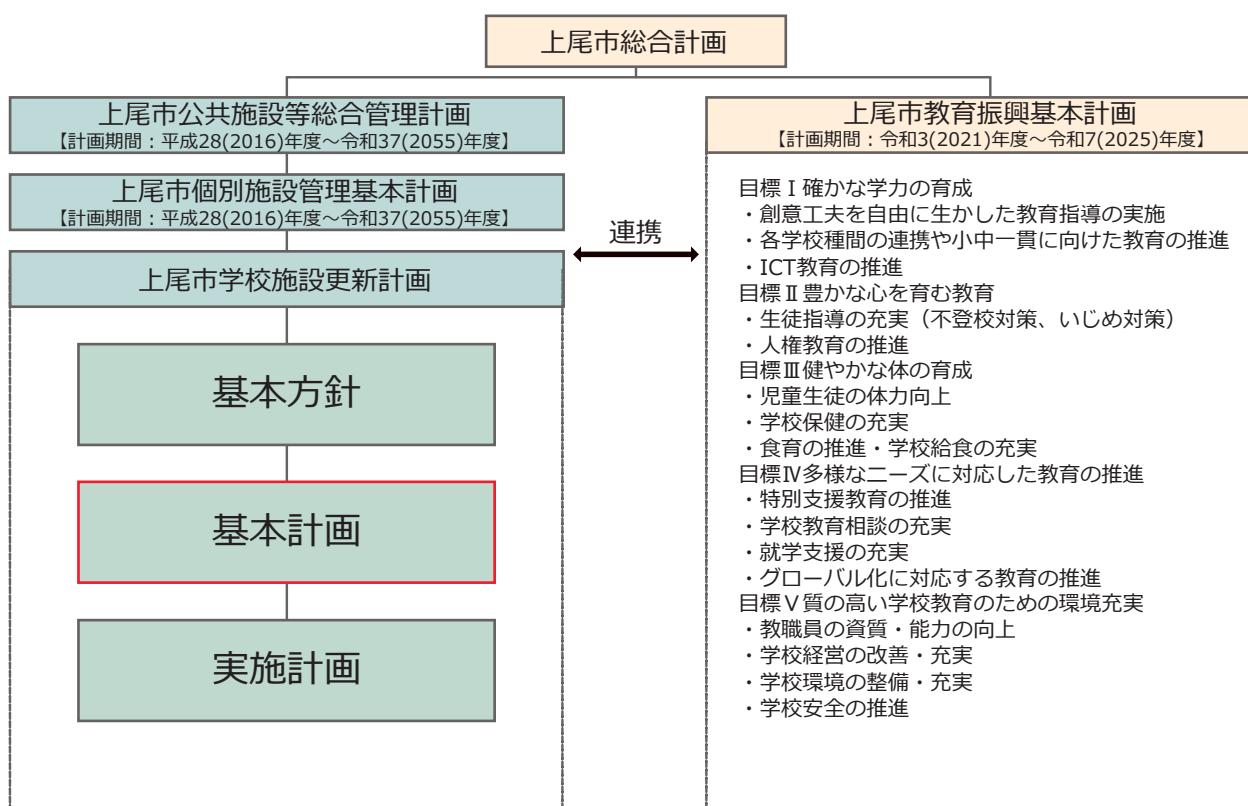


太平中学校・平方東小学校校舎等更新設計業務 ~基本的な考え方について~

1.上尾市の計画方針

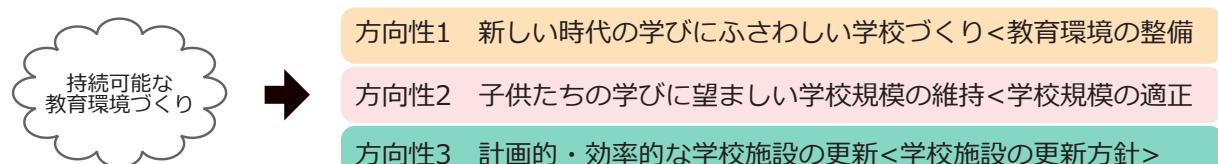
上尾市では、上尾市教育振興基本計画において「夢を育み、未来を創る、上尾の教育」を基本理念として掲げ、教育の振興に取り組んでいます。

上尾市教育振興基本計画では、ソフト面とハード面の目標を掲げ教育行政を促進するとともに、この目標と連携する形で上尾市学校施設更新計画を定め、新しい時代の学びにふさわしい学校づくりを目指して、市を挙げて老朽化の進む学校施設の更新を進めています。



2. 計画のコンセプト

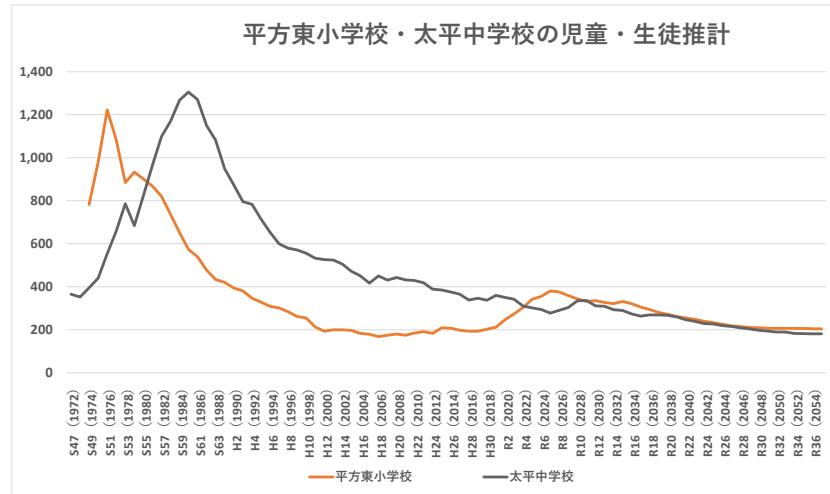
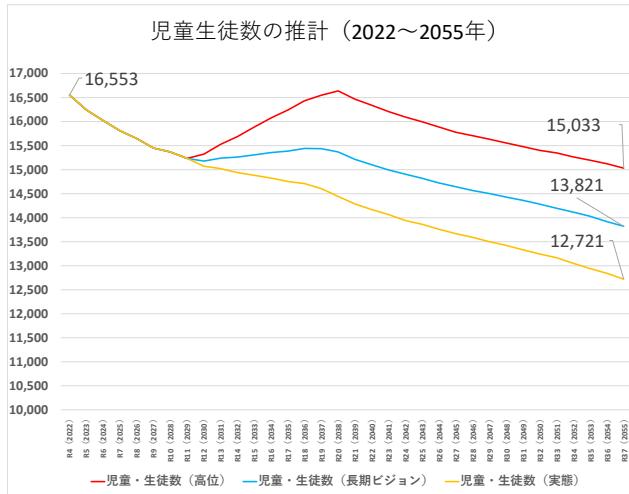
学校施設更新計画では、持続可能な教育環境づくりをコンセプトに3つの方向性を掲げています。



太平中学校・平方東小学校校舎等更新設計業務 ~基本的な考え方について~

3.人口

上尾市では児童生徒が減少しており、高位、長期ビジョン、実態全てで、右肩下がりとなると推計となっております。太平中学校・平方東小学校の児童・生徒数は、令和5年以降は緩やかに減少し、令和37年には両校あわせて、400人程度と見込まれます。



4.建物

建物について、1970年代に建設した棟は建築後50年程度経過しており、表のように老朽が進行している状況です。加えて、ICT教育の推進により、一人一台端末を用いた授業への転換など、大きく教育の行われ方が変化している状況でもあります。そこで、児童生徒の推移推計や建物劣化状況、教育の変化に鑑み、学校施設の更新を行うにあたっての基本的な考え方を示した、学校施設更新計画を策定し、現在その推進をスタートいたしました。

平方東小学校				
建物名	構造	延床面積	建築年度	築年数
特別教室・体育館	RC+S	1482	S49	51
北校舎西	RC	2455	S49	51
管理・南校舎	RC	2207	S49	51
北校舎東	RC	846	S51	49
給食室	RC	167	S51	49

太平中学校				
建物名	構造	延床面積	建築年度	築年数
管理・南校舎東	RC	2132	S44	56
北校舎	RC	2619	S50・S53	50・47
南校舎西	RC	1426	S57	43
体育館	RC+S	762	S46	54
渡り廊下	RC	231	S50・H4	50・33
格技場	S	432	H1	30
給食室	RC	167	S50・H4	50・33

※構造欄の「RC」は鉄筋コンクリート造、「S」は鉄骨造を示す。

※着色部分(桃色)は建築年数40年以上の建物を示す。

5.施設整備の4つのキーワード

配置計画の際には、どの計画もこの4つのキーワードを軸に検討を行っています。



6.スケジュール

新体育館の完成までの流れは次の通りとなります。

全体設計
R6~7年
↓
個別設計
R8年
↓
工事
R9年

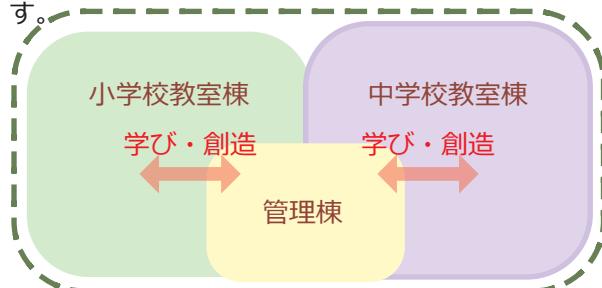
小中学校の敷地を一体整備する中で、学校運営を継続しながら、体育館以外も含めた理想的な建物配置、建替え手順、間取り、建物仕様、設計諸元を作成

体育館の建設およびプール解体等をするための詳細な設計図書を作成

安全に配慮した工事を実施

7.これからの学校づくり(太平中学校・平方東小学校)

管理棟を中心に小学校教室棟と中学校教室棟を配置した配置計画を行っています。これにより管理棟を共有スペースとし、小中学校の敷地の効率的な活用を目指します。また、小中学校間での連携がしやすくなり、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を促すことができます。

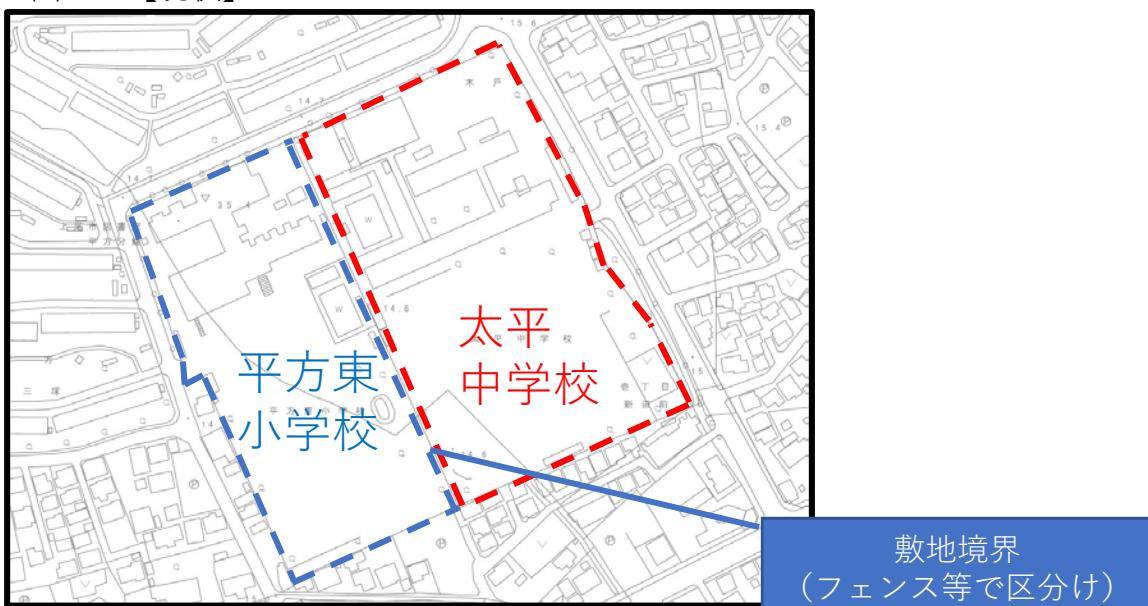


8.隣接校との効率的・効果的な施設整備について

太平中学校と平方東小学校は隣接しているため、小・中学校の敷地及び校舎を一体化させた学校の整備を検討しています。（図1 参照）

小中一体型の施設整備により、職員室、事務室の他、利用頻度の少ない調理室や被服室等、小・中共有の施設を設けることで、効率的な施設利用や施設機能の充実が可能となり、小・中学校の交流の一層の促進や児童生徒の学習効果の高まりが期待されます。なお、小中一体型の校舎における小・中学校間で共有する施設については、体格差や授業時間の違いなど、教育活動や学校生活の特性を考慮したゾーニングを図りつつ、検討を進めています。

図1 【現状】

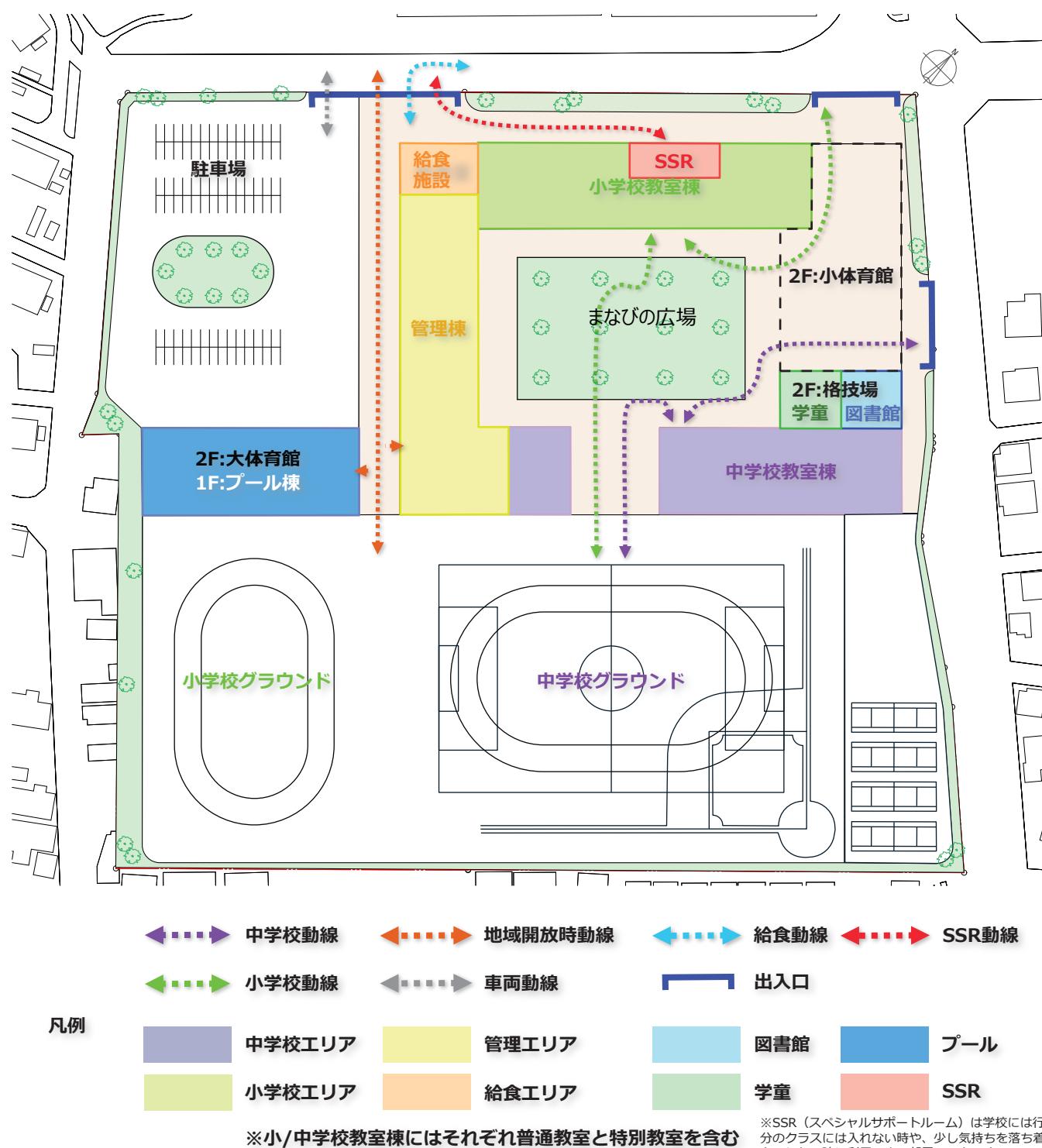


【配置計画 検討敷地】



配置検討（A案）

■配置計画の完成イメージ



■計画の特徴

<良い点>

- 建物に囲まれたまなびの広場を設置し、風の強い日などの天候の影響が少なく、休み時間に利用しやすい空間として、小中学校の一体感が生まれる。
- 小学校と中学校のゾーニング分けが明確。

<懸念点>

- 既存中学校の校舎全体を囲うように新校舎を建設するため、施工面積が大きくなる。

配置検討（A案）

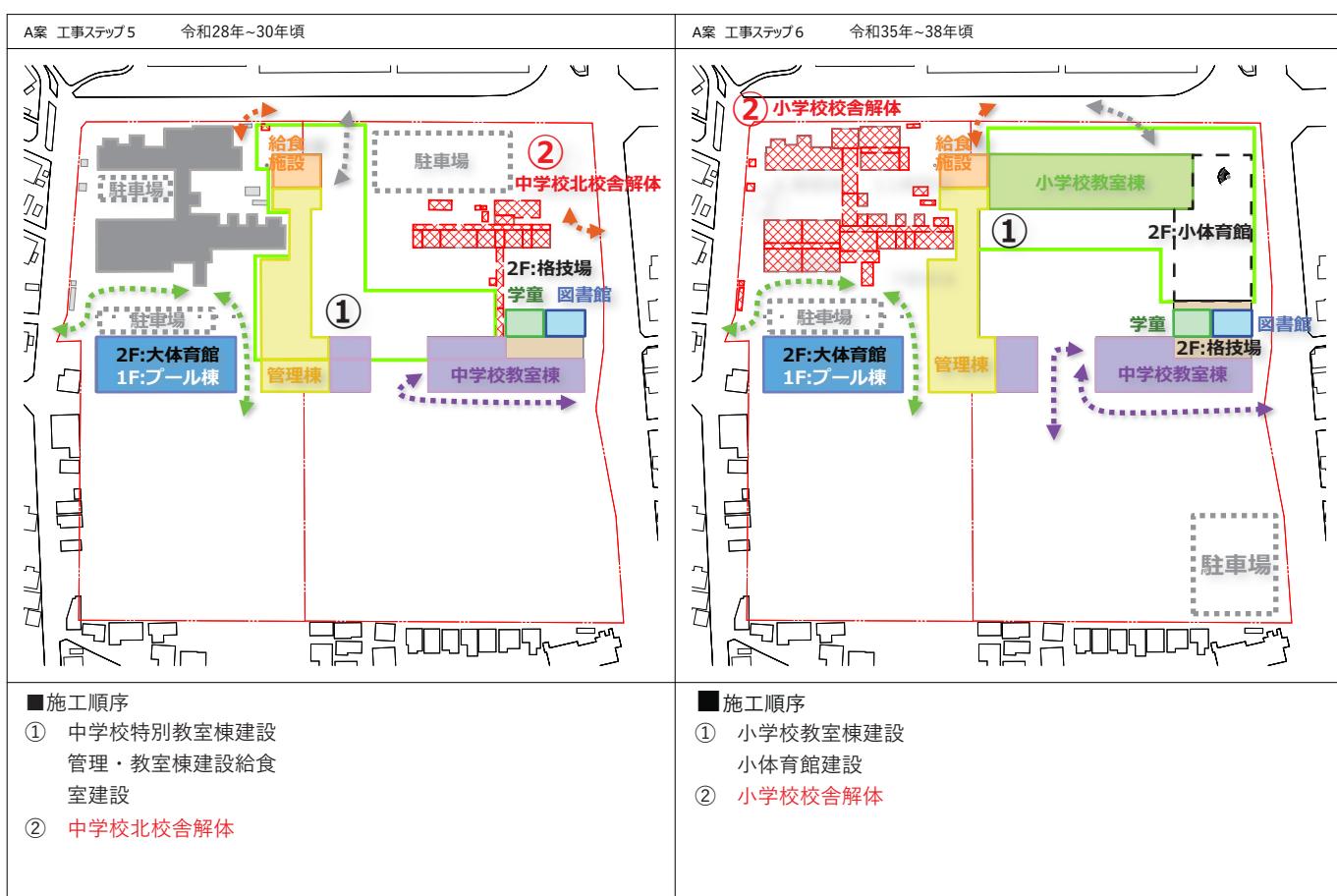
■工事ステップの概要

A案 工事ステップ1 令和8年頃	A案 工事ステップ2 令和9年~11年頃
<p>■施工順序 ① プール解体</p>	<p>■施工順序 ① 大体育館建設 プール棟建設 ② 屋内運動場解体</p>

A案 工事ステップ3 令和14年~17年頃	A案 工事ステップ4 令和21年~23年頃
<p>■施工順序 ① 中学校教室棟建設 管理・教室棟建設 ② 中学校南校舎解体</p>	<p>■施工順序 ① 格技場建設 図書館分館建設 ② 格技場解体</p>

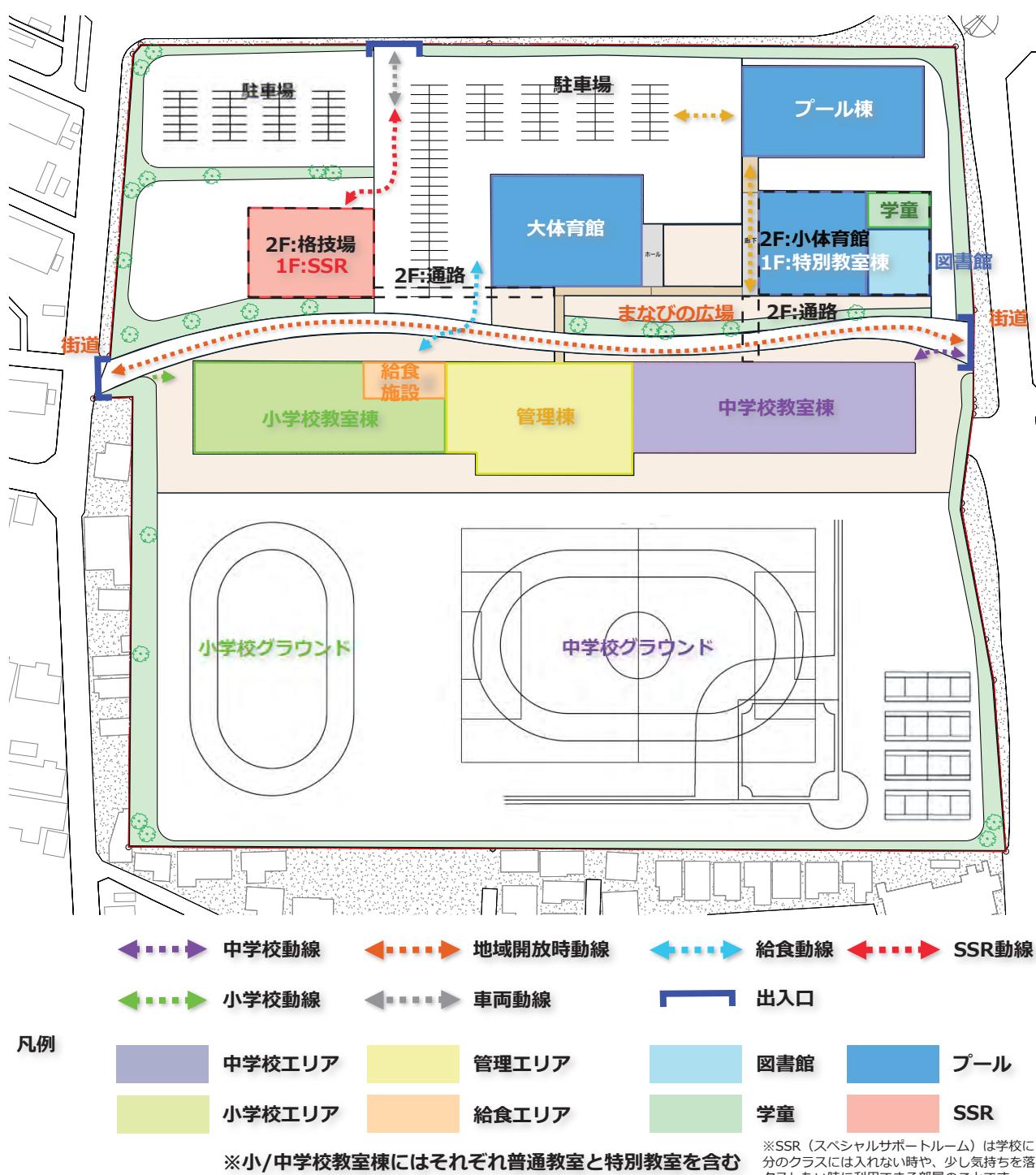
配置検討（A案）

■工事ステップの概要



配置検討（B案）

■配置計画の完成イメージ



■計画の特徴

<良い点>

- 児童、生徒数の増減に対して、柔軟な教室配置がしやすい。
- 地域開放エリアのゾーニングが明確。

<懸念点>

- 特別教室には渡り廊下を通っていかなければいけない。
- ほかの案に比べ、小学校エリアから小体育館が遠い。

配置検討（B案）

■工事ステップの概要

B案 工事ステップ1 令和8年頃	B案 工事ステップ2か 令和9~11年頃
<p>■施工順序 ① プール解体</p>	<p>■施工順序 ① 大体育館建設 ② 屋内運動場解体 ③ プール棟建設</p>

B案 工事ステップ3 令和14年~16年頃	B案 工事ステップ3-2 令和28年~29頃
<p>■施工順序 ① 管理・教室棟建設 中学校教室棟建設 ② 中学校南校舎解体</p>	<p>■施工順序 ① 特別教室棟建設 ② 中学校北校舎解体</p>

配置検討（B案）

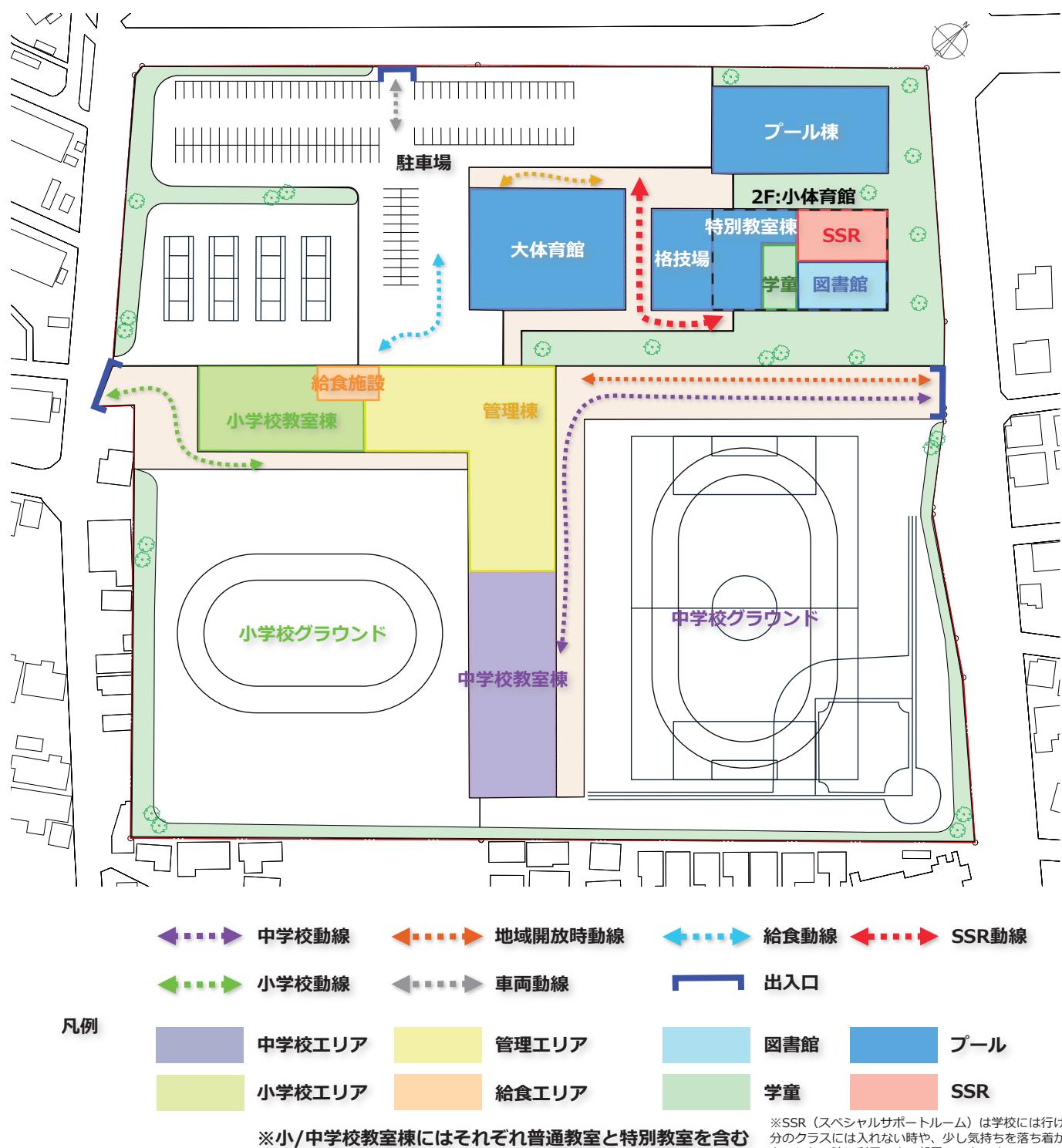
■工事ステップの概要

B案 工事ステップ4 令和30年~31年頃	B案 工事ステップ5 令和35年~38年頃
<p>■施工順序 ① 小学校教室棟建設</p>	<p>■施工順序 ① 小学校教室棟建設 ② 小学校校舎解体 特別教室棟建設</p>

B案 工事ステップ6 令和42年~43年頃
<p>■施工順序 ① 付属棟建設 格技場建設 ② 格技場解体</p>

配置検討（C案）

■配置計画の完成イメージ



■計画の特徴

<良い点>

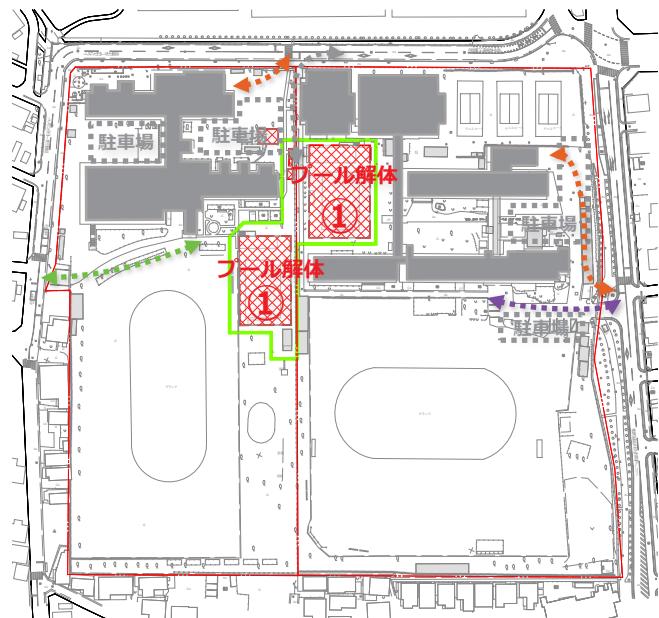
- ・グラウンドを建物でエリア分けすることができる。
- ・一部校舎を4階建てにすることで敷地内に広い空間が取れ、将来的な拡張性が他の案に比べて大きい。

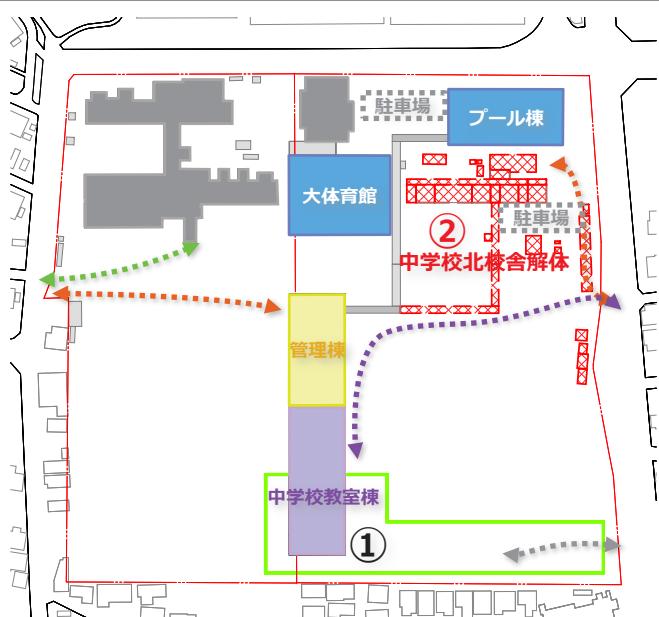
<懸念点>

- ・中学校普通教室は日射が半日のみとなる。
- ・グラウンドの一体的な利用ができない。

配置検討（C案）

■工事ステップの概要

C案 工事ステップ1 令和8年頃	C案 工事ステップ2か 令和11年頃
 <p>■施工順序 ① プール解体</p>	 <p>■施工順序 ① 大体育館建設 ② 屋内運動場解体 ③ プール棟建設</p>

C案 工事ステップ3 令和14年~17年頃	C案 工事ステップ4 令和22年~23頃
 <p>■施工順序 ① 管理・教室棟建設 中学校教室棟建設 ② 中学校南校舎解体</p>	 <p>■施工順序 ① 特別教室棟建設 ② 中学校北校舎解体</p>

配置検討（C案）

■工事ステップの概要

C案 工事ステップ5 令和29年~30年頃	C案 工事ステップ5-2 令和34年~37年頃
<p>■施工順序 ① 管理・教室棟建設 小学校教室棟建設</p>	<p>■施工順序 ① 小学校北校舎解体 ③ 小学校南校舎解体 ② 格技場・小体育館・ 特別教室棟建設</p>